

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-46431(P2005-46431A)
【公開日】平成17年2月24日(2005.2.24)
【年通号数】公開・登録公報2005-008
【出願番号】特願2003-282843(P2003-282843)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 1 8

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件が成立することに基づいて識別情報を変動表示する可変表示手段を備えた遊技機において、

前記可変表示手段が回動可能に軸支されて取り付けられる枠体と、

前記可変表示手段を回動させる駆動手段と、

所定の条件が成立することに基づいて前記可変表示手段を回動させるように前記駆動手段を制御する制御手段とを含む可変表示装置を備え、

前記可変表示手段は、その表面側と裏面側に、識別情報を表示する表示部をそれぞれ備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記可変表示手段は、当該遊技機を正面視した状態で水平方向に複数個並べて設けられ

、

前記複数個の可変表示手段は、それぞれ縦軸を中心に回動可能であり、かつ、互いの回動を妨げない程度の間隔を空けて配設されている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機において、

さらに、前記可変表示装置は、

前記可変表示手段の裏面側に遊技媒体を貯留する貯留部と、

前記貯留部に遊技球を誘導する誘導手段と

を備え、

かつ、前記可変表示手段の回動に伴って前記貯留部の遊技球が流下する開口を形成するものである

ことを特徴とする遊技機。